

2025年3月期 決算説明会

(2024.04.01~2025.03.31)

JBCCホールディングス株式会社
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

2025年5月13日

この資料は、5月12日に開示した決算説明資料より抜粋したものです。

企業のデジタル・トランスフォーメーションを実現するため、お客様の環境に合わせて
クラウド&セキュリティ、超高速開発等、ITに関するサービスを提供

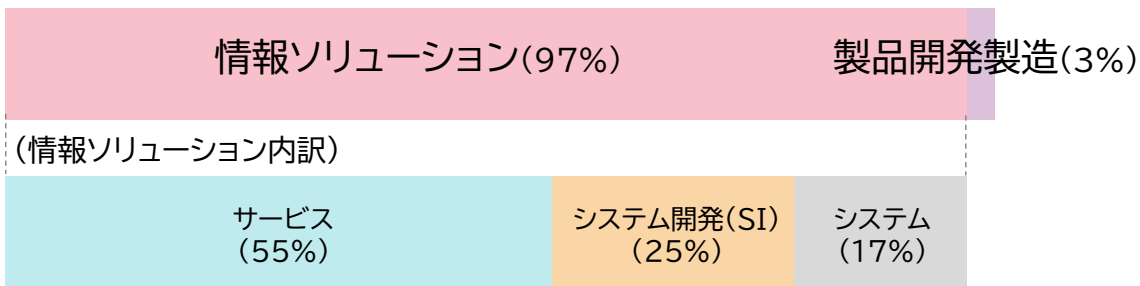
社名：JBCCホールディングス株式会社
[東証プライム市場 情報・通信業 9889]

設立：1964年4月1日

資本金：47億13百万円

従業員数：2,014名 [有期社員を含む連結]

事業セグメント：



※2025年4月1日現在

事業会社：8社（国内 48拠点、海外 4拠点）



本社：八重洲オフィス

AGENDA

- 2025年3月期 決算概要
および2026年3月期 業績予想・配当予想
- 中期経営計画「CHALLENGE 2026」
進捗状況／目標値修正

事業構造変革により、過去最高益を更新 中計目標を上方修正し、更なるCHALLENGEを推進

注力事業のクラウド・セキュリティが牽引し、**3期連続増収増益**

前年同期比 売上高 **+7.2%**、営業利益 **+39.2%**

事業構造変革を推進し、収益力が向上

前年同期比 営業利益率 **+2.0pts**

計画を上回る業績進捗から、**期末配当を上方修正(71円→81円)**

期末配当 **81円** 年間配当 **134円**(予想値+10円)

中期経営計画「CHALLENGE 2026」**目標値を上方修正**

売上高 **745億円**(修正増減+25億) 営業利益率 **11%**(+1pts) ROE **20%**(+3pts)

- 全指標が予想値を上回り達成
- 事業構造変革により、営業利益は前期比+39.2%の大幅増

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比	2025年3月期 予想 2024年10月31日公表	予想に対する 進捗率
売上高	65,194	69,868	+7.2%	66,500	105.1%
営業利益	4,422 (6.8%)	6,155 (8.8%)	+39.2% (+2.0pts)	5,800	106.1%
経常利益	4,549 (7.0%)	6,314 (9.0%)	+38.8% (+2.1pts)	5,900	107.0%
親会社に帰属する 当期純利益	3,187 (4.9%)	4,603 (6.6%)	+44.4% (+1.7pts)	4,100	112.3%

()内は利益率を示します。

- S I
- 業績にマイナス影響を与えていた主要プロジェクトは3Qに完了、進行中のプロジェクト対応に集中
- サービス
- 注力事業であるクラウド、セキュリティの受注が業績に貢献 / 付随する導入・移行サービスも好調
- システム
- 上期にあったハードウェア刷新需要が落ち着き、下期は予想通りに着地

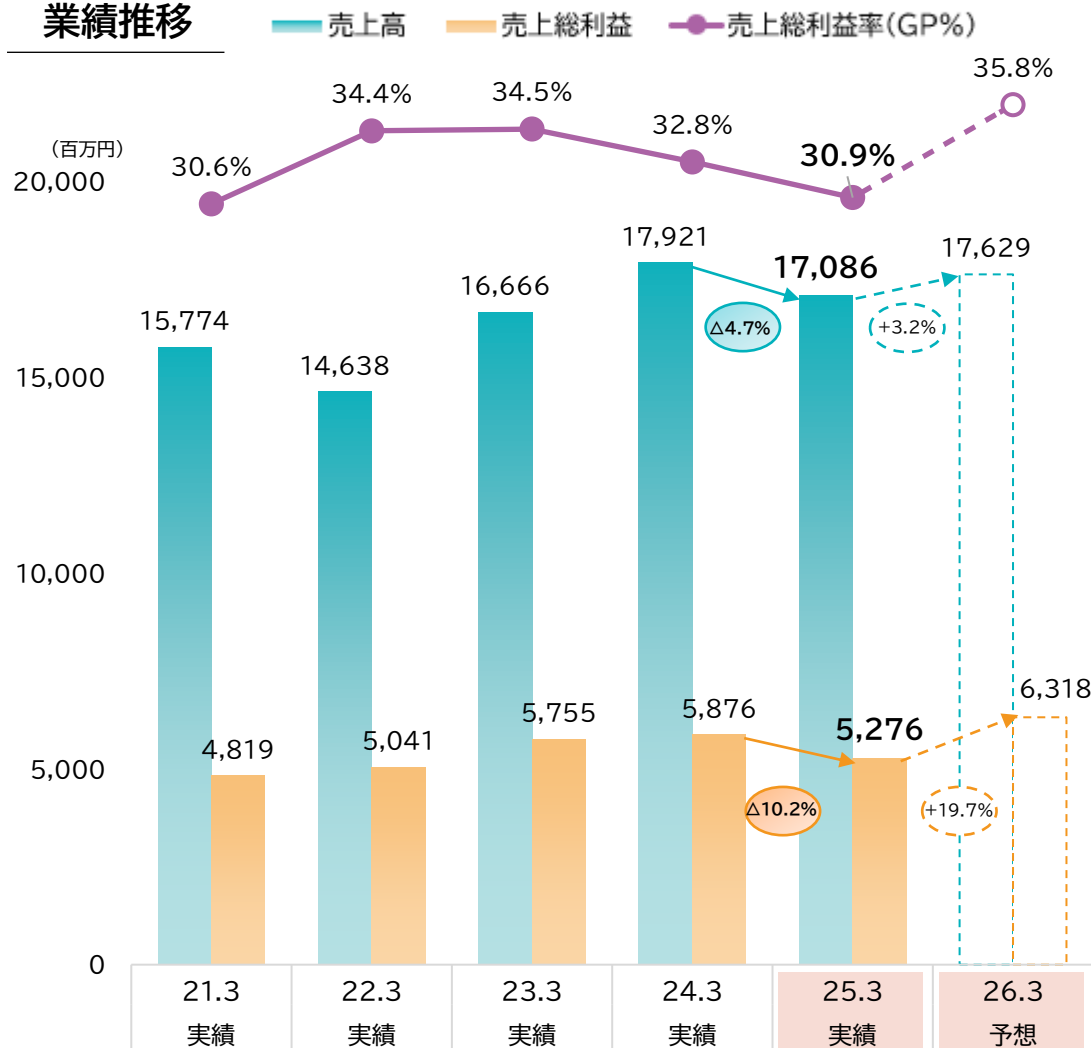
(百万円)

事業セグメント(各事業分野に含む注力事業)		2025年3月期実績					
		売上高		売上総利益		売上総利益率	
			前期比		前期比		前期比
情報ソリューション		67,895	+7.4%	19,762	+9.2%	29.1%	+0.5pts
SI	(超高速開発)	17,086	△4.7%	5,276	△10.2%	30.9%	△1.9pts
サービス	(クラウド、セキュリティ)	38,647	+18.1%	11,937	+24.2%	30.9%	+1.5pts
システム		12,161	△3.3%	2,548	△2.4%	21.0%	+0.2pts
製品開発製造		1,972	±0.0%	1,209	△5.9%	61.3%	△3.8pts
合計		69,868	+7.2%	20,971	+8.2%	30.0%	0.3pts

ハイライト

業績に**マイナス影響**を与えていた遅延プロジェクトは3Qに**完了**、4Qは**業績正常化**し**復調**に向かう

業績推移



足元の状況

- 超高速開発は3Qに**遅延プロジェクト完了**し、4Q以降は**復調傾向**
超高速開発 4Q YoY 売上高 +14.1% 売上総利益 +144.8%
- 従来型開発は**計画通り**に進捗
大型モダナイゼーション案件5件が進行中。計画通りの進捗。強い需要が継続。

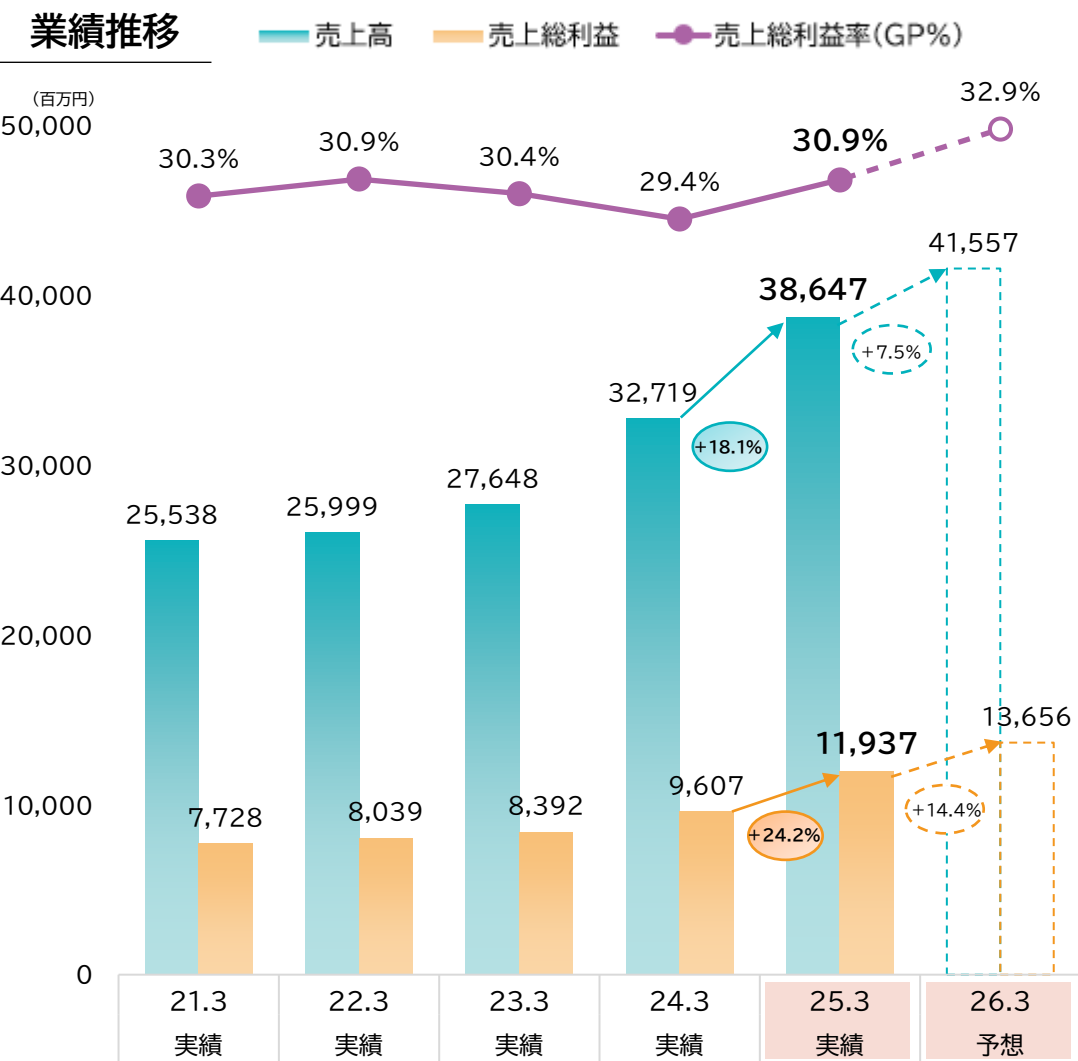
今後の取組

- 進行中案件の**完遂**に向けてプロジェクト対応に**集中**
超高速開発での基幹システム再構築案件は常時約20件程度が進行中であり、これらのプロジェクト対応に集中。新規大型案件受注は26.3期後半以降を見込む。
- 重点施策「**マイクロアセットサービス**」の取り組みを**推進**

事業の特性

- 「超高速開発」へのシフトを推進
当社独自のアジャイル型開発手法「JBアジャイル」とローコード開発を組み合わせた「超高速開発」で企業の基幹システム再構築を実施。480件を超える導入実績があり、ここ数年で案件規模が拡大中。
- 従来型開発「モダナイゼーション」とヘルスケア対応
大手メインフレーム上で稼働する古い業務システムをIBM製オフコンへ移行する「モダナイゼーション」対応の需要あり。長年の豊富な実績と経験が強み。他、電子カルテ/医事会計を中心とする病院情報システムの導入を実施(ヘルスケア)。

ハイライト 注力事業であるクラウド、セキュリティの受注が業績に貢献 / 付随する導入・移行サービスも好調



足元の状況

- 「クラウド」「セキュリティ」の受注が売上・利益に貢献
売上高 YoY クラウド +47.3% セキュリティ +35.4%
- 付随する構築・移行サービスが好調
「クラウド」「セキュリティ」受注後の環境構築・移行作業を対応。
- ストックビジネスの伸長により収益力向上
顧客ニーズに応える高品質・高付加価値サービスを提供 GP% YoY +1.5pts
人件費増加や再販の仕入れ価格変動を適宜・適切に価格へ転嫁

今後の取組

- 「クラウド」「セキュリティ」の高付加価値サービスの拡充
各種サービスの機能強化・拡大を継続。SEのスキルアップ・スキルシフトを推進。
- マーケティング強化

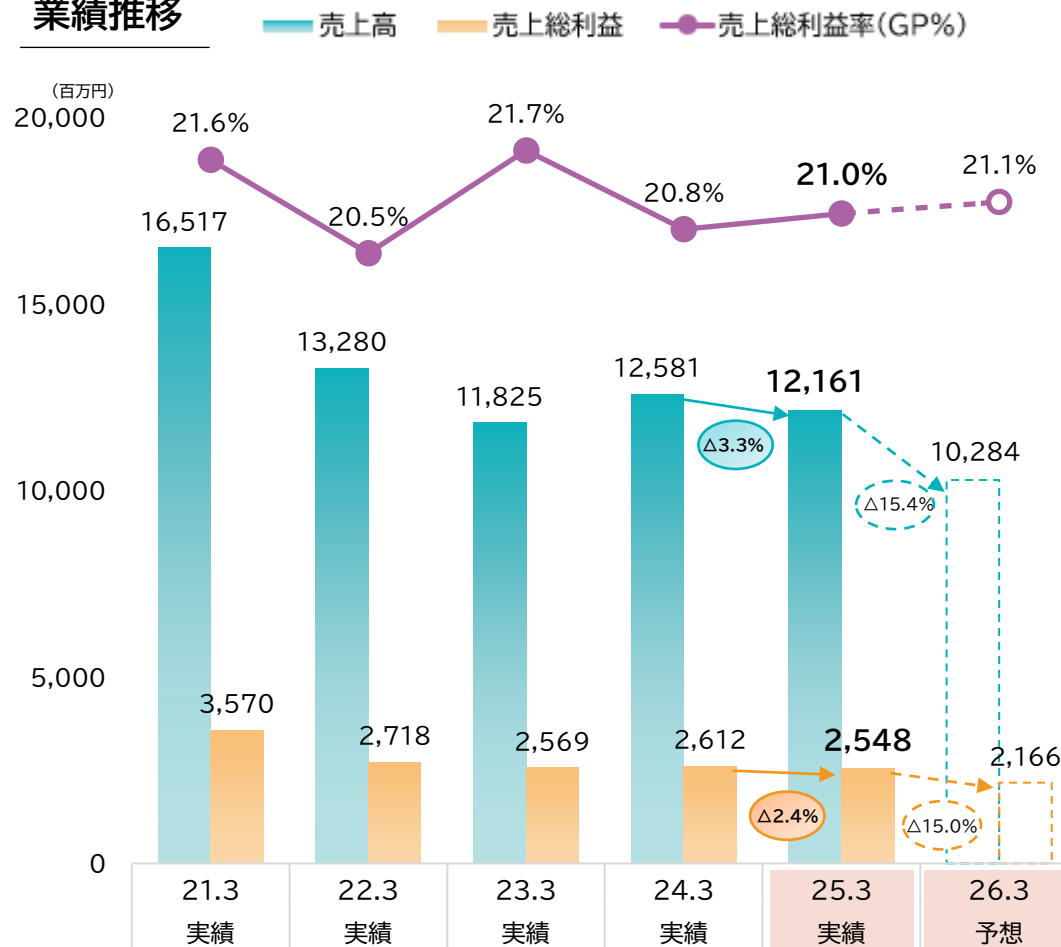
事業の特性

- 注力事業「クラウド」「セキュリティ」の拡大を推進
高い市場成長とお客様需要が継続しており、コストの最適化サービスやマネージドサービスによる付加価値提供で、ビジネスを拡大中。
- ITインフラに関する多種多様なサービスを展開
ストックビジネス：クラウド、セキュリティ、監視、保守、ヘルプデスクサービス、PCやタブレット機器のLCM等／フロービジネス：クラウド、セキュリティに付随する構築・移行、オンプレミスのサーバ環境の構築・移行サービス等

業績概要 | 事業セグメント別 - システム、製品開発製造

システム

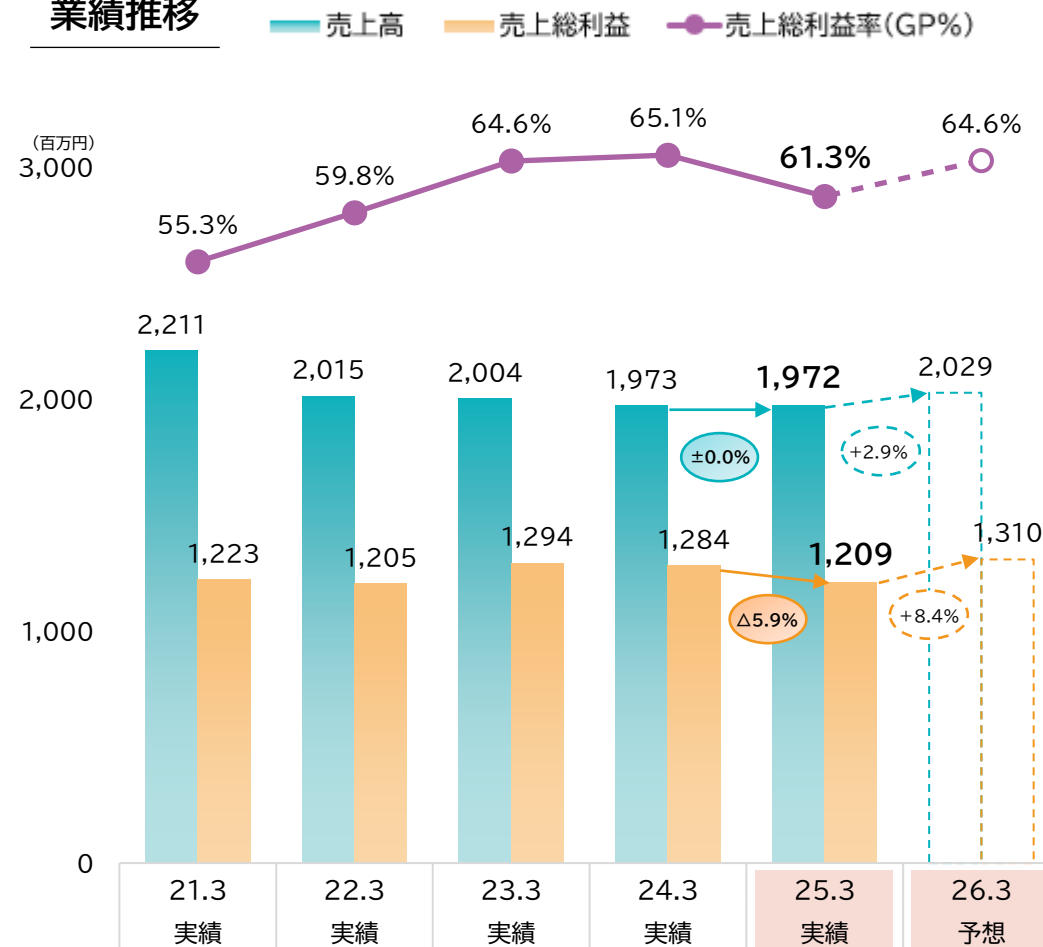
業績推移



- 上期のハードウェア刷新需要落ち着き、下期は予想通りに着地
- クラウド化加速に伴いハードウェア販売が減少し当事業は縮小傾向

製品開発製造

業績推移



- オリジナルソフトウェアのストック化を推進、ソフトウェア分野は伸長
- プリンタ等ハードウェア分野は減少傾向

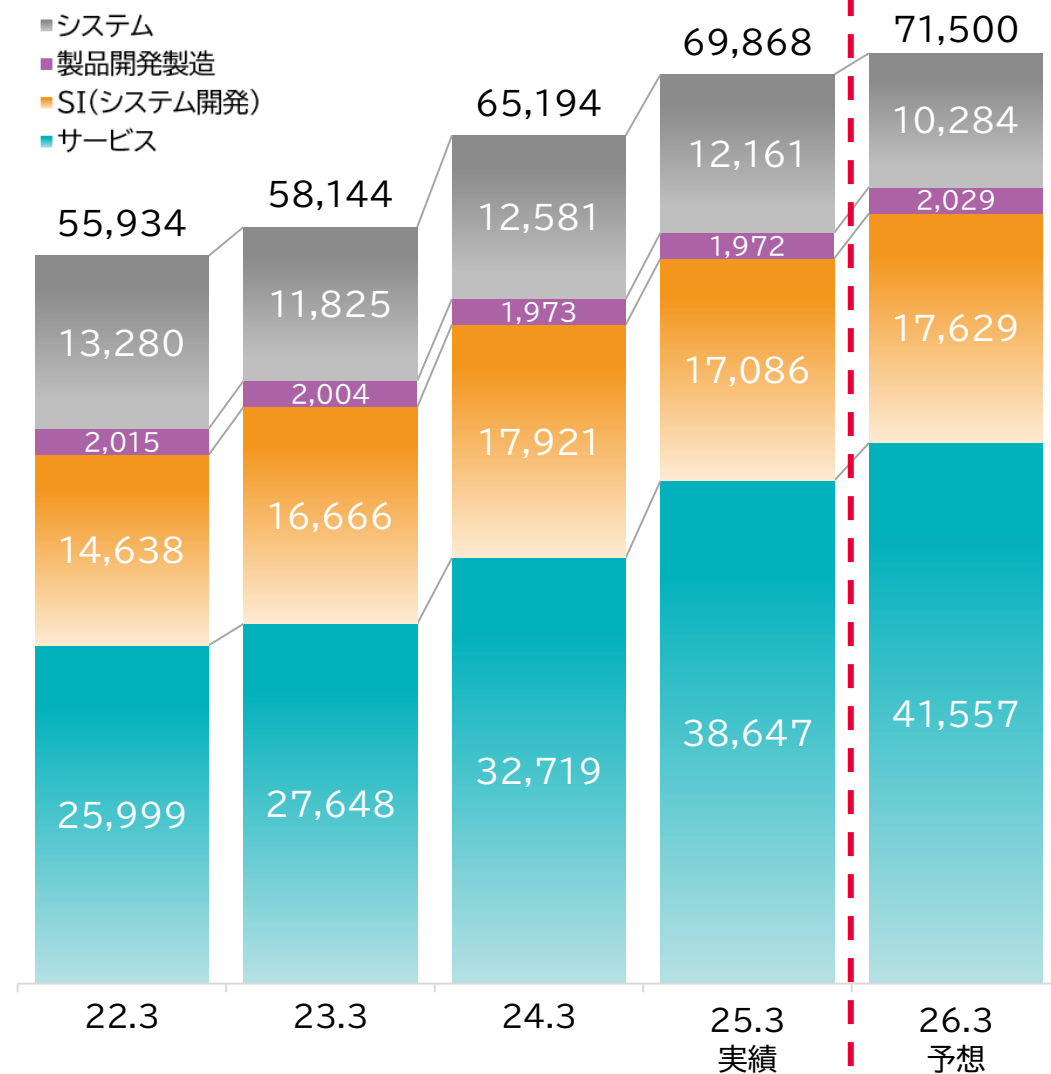
ハイライト

4期連続増収増益予想

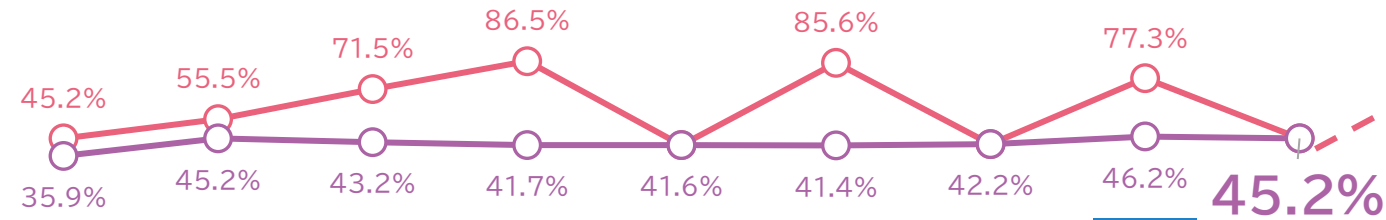
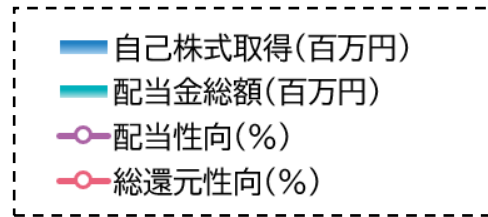
	26.3予想	前期比
売上高	71,500	+2.3%
営業利益	6,800 (9.5%)	+10.5% (+0.7pts)
経常利益	6,900 (9.7%)	+9.3% (+0.7pts)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,800 (6.7%)	+4.3% (+0.1pts)

- サービス分野は、「クラウド」「セキュリティ」の高付加価値サービスを拡充
- システム開発(SI)分野は、「超高速開発」が特徴
- 人材への投資を計画的に実施、人材の強化により企業価値向上を推進

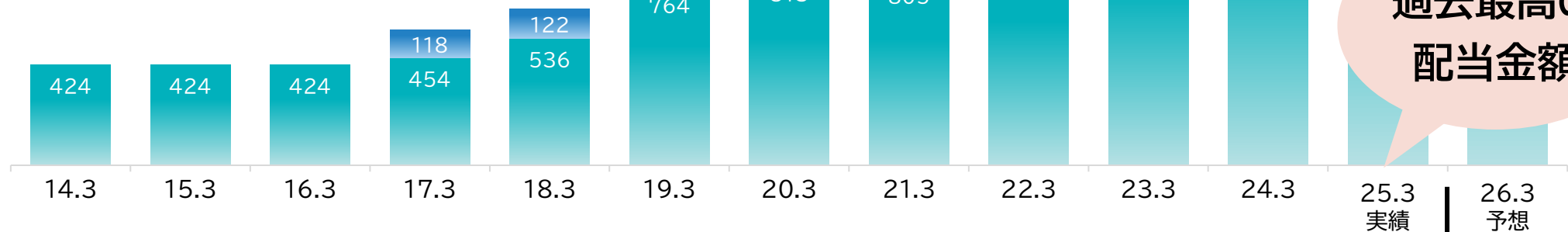
事業セグメント別売上高予想（百万円）



株主還元状況 | 配当金総額と自己株式取得の推移

機動的な
自己株式取得

- 健全な財務基盤を維持し
長期的な株主還元を実現
- 中期経営計画における株主還元目標

配当性向 **45%以上**機動的な **自己株式取得**過去最高の
配当金額2025年4月1日
株式分割を実施
1株→4株1株当たり
年間配当金
(円)

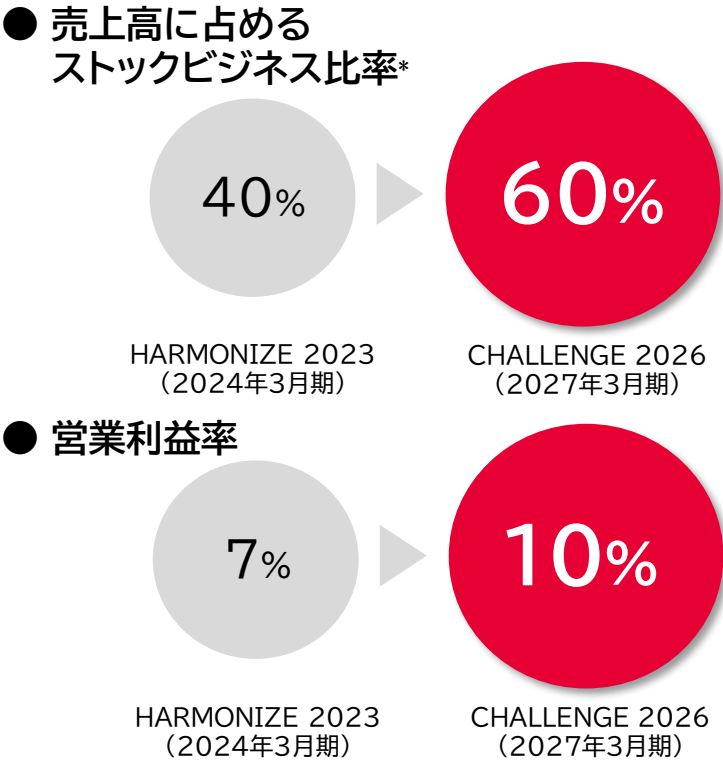
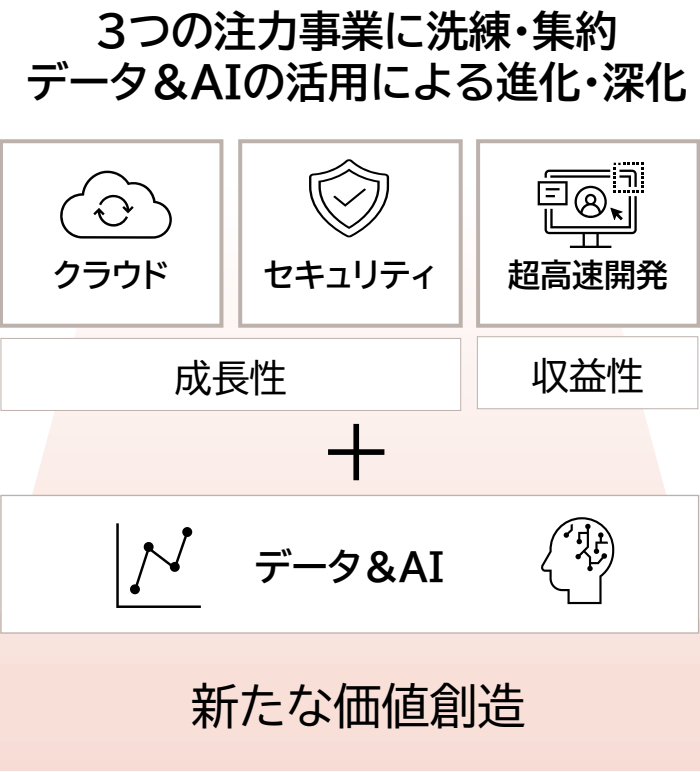
25円	25	25	27	32	46	50	50	58	72	94	134円	分割後 35円	分割前相当 140円
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------	------------	---------------

AGENDA

- 2025年3月期 決算概要
および2026年3月期 業績予想・配当予想
- 中期経営計画「CHALLENGE 2026」
進捗状況／目標値修正

- さらなる成長と高い収益性を実現するため、注力事業の進化・深化により事業構造の変革を更に加速
- 成長を支え、環境変化への耐性を備えた経営基盤の強化・高度化
- 人材及び新たなビジネス領域の拡大に向けて経営資源を投下

事業構造の変革を加速



経営基盤の強化・高度化

人材および新たなビジネス領域の
拡大に向け経営資源を投下

人材・組織の 強化・高度化	ガバナンスの強化
DXの加速	リスクマネジメント 体制の高度化

サステナビリティの取り組み

4つのマテリアリティに対する活動・実行

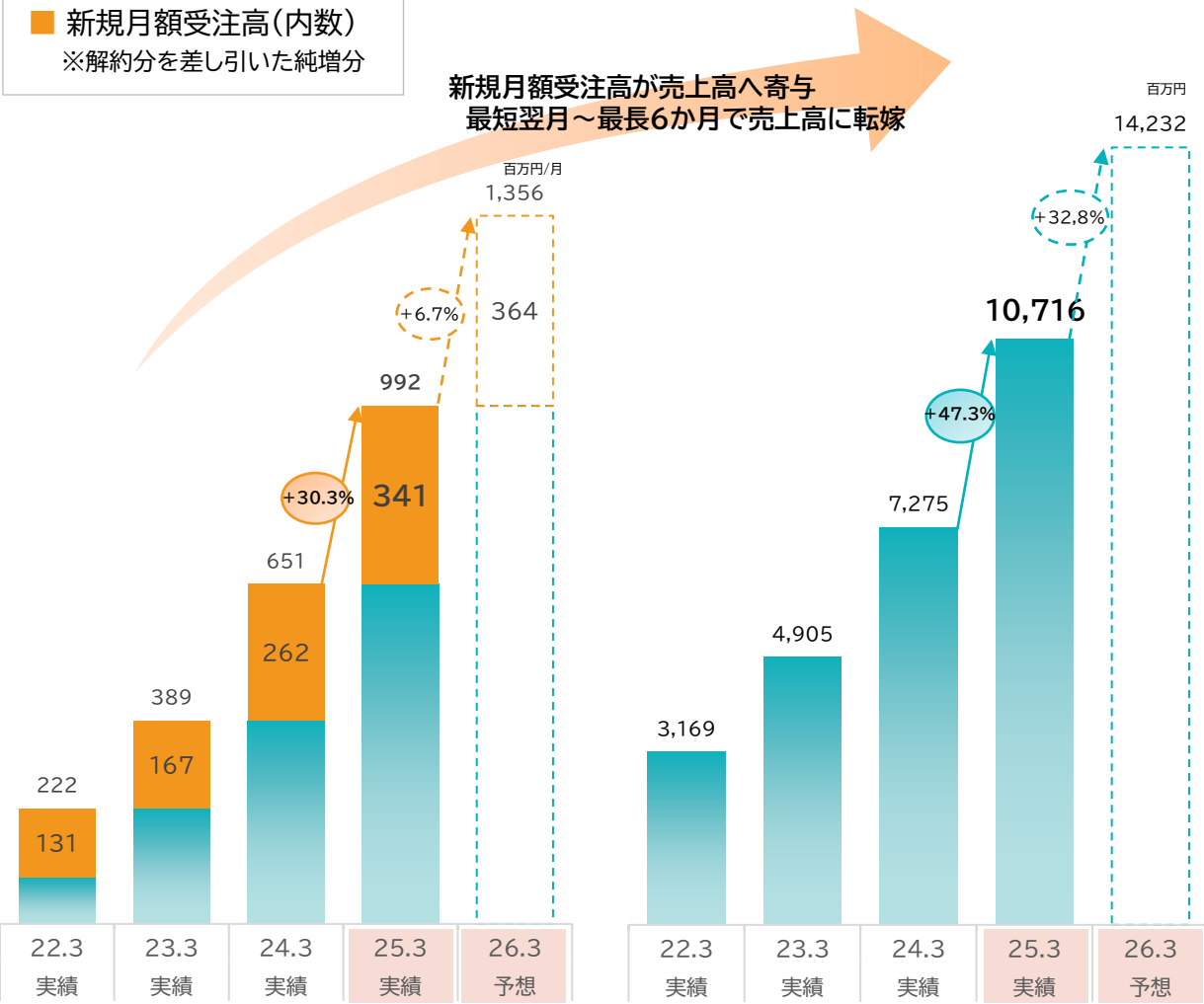
社会に貢献する 人材の育成	高い品質と 技術力の強化
安心/安全な 企業体質の強化	環境に配慮した 社会の実現

*ストックビジネスには、クラウド、セキュリティ、運用/保守/監視等サービス、月額型ソフトウェアやその保守サービスを含みます。

月額受注高累計

■ 新規月額受注高(内数)
※解約分を差し引いた純増分

売上高推移



● 過去最大の新規受注を獲得
中堅・大手企業をターゲットに、案件大型化が進む

- 市場** 中堅・大手企業のIT人材不足、コスト意識の高さ
- 強み** 中堅・大手企業の課題・ニーズに対して「量(範囲)」と「質」両面の期待に応えるサービス提供
 - マルチクラウド対応の運用・コスト最適化サービス
 - SaaS利活用支援DXワークショップ

実績
 25.3期 YoY 新規確保高+30.3% 売上高+47.3% GP% △0.4pts

- 年商1,000億円以上企業からの受注が前期比3倍に増加
- 月額100万円超の受注案件比率 32%→38%に増加

- 高付加価値サービスの拡充
 - マルチクラウドコスト最適化のレポートティング機能強化
 - 365マネージドサービス拡大、ガバナンス強化支援、運用課題解決

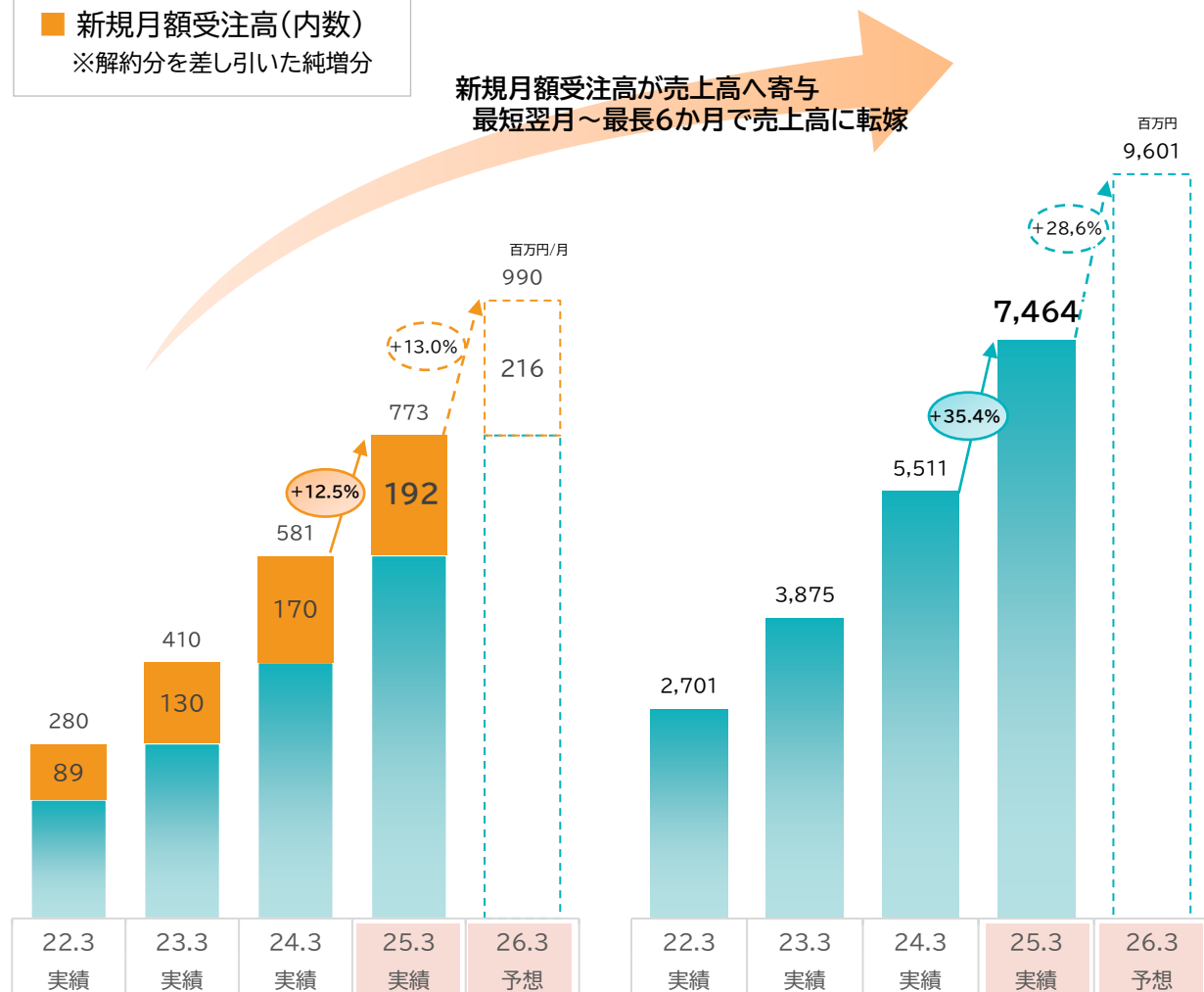
- その他 主要施策
 - IaaS: VMwareからのクラウドリフト増(本格化)
 - SaaS: M365マネージドを中心に拡充、拡販
 - マーケティング強化(ウェビナーで鮮度の高い情報発信)
 - 高度エンジニアの育成・リソース確保

月額受注高累計

■ 新規月額受注高(内数)
※解約分を差し引いた純増分

売上高推移

新規月額受注高が売上高へ寄与
最短翌月～最長6か月で売上高に転嫁



- **過去最大の新規受注を獲得**
中堅・大手企業をターゲットに、案件大型化が進む

市場 中堅・大手企業のIT人材不足、IT環境の複雑化とサイバー攻撃増

強み

- ・インフラベンダーとしての豊富な実績を元に、マルチクラウドに対応したセキュリティサービス提供とインシデント対応力が強み
- ・セキュリティリスク可視化、サイバー攻撃のトレンドを踏まえ、複数のセキュリティ対策サービスを組み合わせる”全体最適提案“

実績

25.3期 YoY 新規確保高 +12.5% 売上高 +35.4% GP% +0.7pts

- クラウドセキュリティや脅威検知・対応、監査・診断領域が大きく成長
- 月額100万円超の受注案件比率 34%→47%に増加

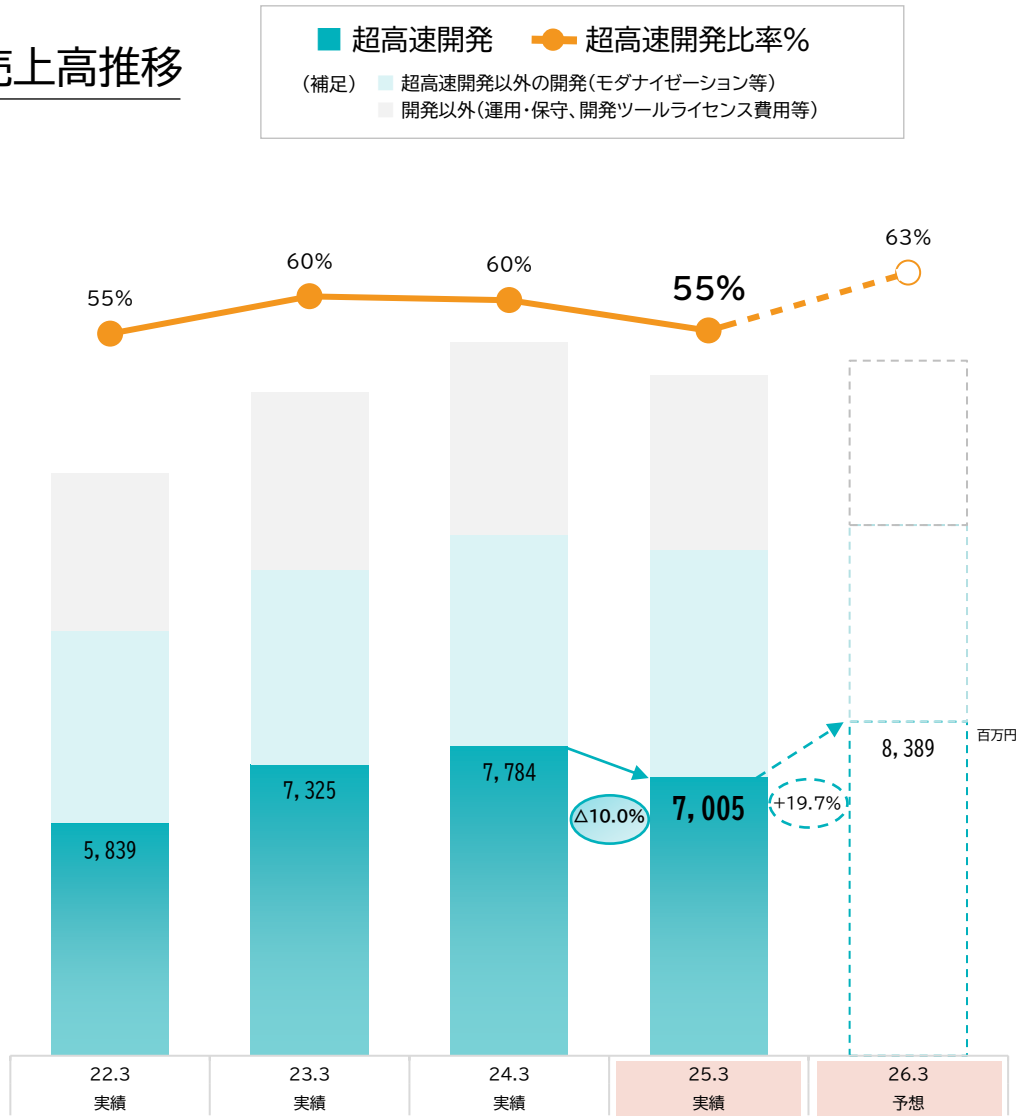
● 高付加価値サービスの拡充

- インシデント対応を契機に、新規顧客を獲得
- 他社に先駆けたサービス拡大、IaaSセキュリティ監査サービス リリース(3月)

その他 主要施策

- 具体的なリスク抽出と最適な(的確、適切)ロードマップ提案をトップへアプローチ、セキュリティコンサル戦力を集中投入
- マーケティング強化(共催・外部セミナー等へ登壇して認知度向上)
- 高度エンジニアの育成・リソース確保

売上高推移

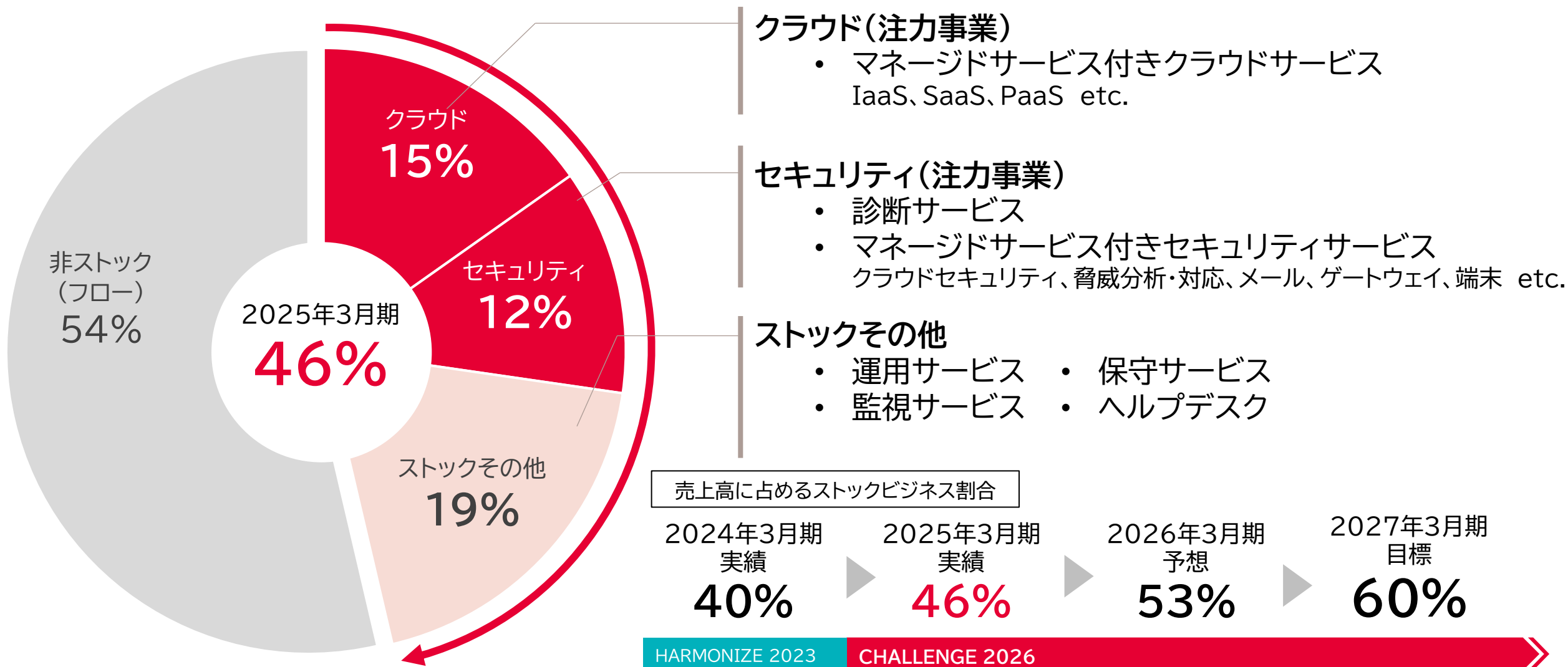


● 業績は復調し、巡航速度を取り戻す

- 市場** 中堅・大手企業のIT人材不足、DX化、変化に対応可能な基幹システムの構築
- 強み** 当社独自のアジャイル型開発「JBアジャイル」とローコード開発を組み合わせた「超高速開発」とマイクロアセットサービスの活用で、企業の基幹システムを高品質・短納期で提供
- 実績** 25.3期 YoY 売上高 $\Delta 10.0\%$ GP% $\Delta 4.1\text{pts}$
- 25.3期3Qに遅延プロジェクトが完了し、4Q以降は復調傾向
 - 大型プロジェクトの完遂に向けて集中的に対応
 - 基幹システム再構築PJは同時並行して約20件が進行中。大型プロジェクト推進組織を新設し、大規模プロジェクトの体制強化、プロジェクトマネジメントに注力。(25年度上期に複数プロジェクト完了予定)
 - プロジェクト遅延の再発防止
 - 大型プロジェクトに適合した「JBアジャイル」へと進化
見積や要件定義フェーズにおける標準化の見直し、品質管理プロセス・体制を強化。
 - プロジェクト運営を支える人材育成
経験・スキル・業種等でSEを層別し、育成を推進。
 - 重点施策「マイクロアセットサービス」開発進行中
 - 注力4業種(学習塾、建材業、鉄鋼業、食品業)で開発進行中、サービス化進む。

中期経営計画 進捗状況 | 売上高に占めるストックビジネス割合

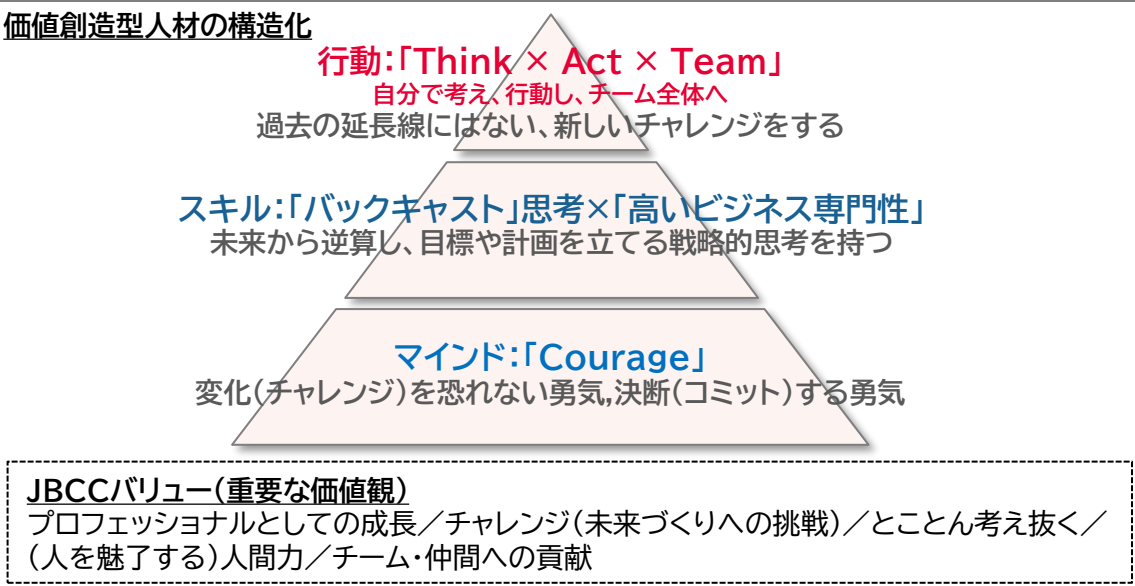
- 注力事業であるクラウド、セキュリティが牽引し、計画値通りに進捗



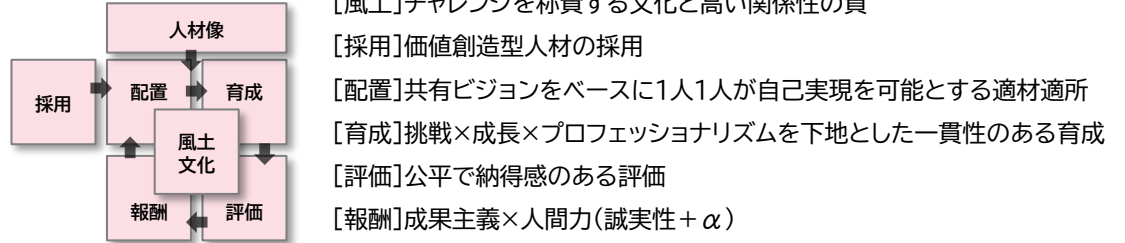
- JBCCグループの未来をつくる「価値創造型人材」の採用、育成、配置、従業員エンゲージメントを戦略的に推進し、持続的な事業の成長と企業価値の向上を実現

人材戦略

JBCCグループが求める人材像の明確化



人材戦略サイクル



具体的な施策／人材への投資

人材戦略投資 '24 計画通りに進捗 6.6億円 '25 10億円予定

- 採用**
- 新卒: リクルーター制度導入、面接官トレーニングの実施等による採用手法の洗練
→ 2025年度新卒採用72名(対前期比1.4倍)、女性比率43.2%
 - キャリア: 採用HP改定等によるダイレクトリクルーティング強化、リファラル制度拡充
→ 求人エントリー者数対前年比3.2倍
- 育成**
- 従業員の主体性(自己実現)尊重しつつ、組織ニーズを満たす人材育成プログラム
 - JBCCアカデミーの展開
→ 社内教育: SE向け60講座実施し、延べ3,525名が受講
→ 社会貢献: 就労支援団体に6講座実施のほか、社外技術コミュニティへの参画
 - リーダーシップ研修の強化
→ 役員向けワークショップ、リーダー向け研修、対話品質向上ワークショップ
- 処遇・制度/多様性**
- 人的資本への重点的な投資として、業績上位80%の従業員に対し平均7%の昇給
 - パルスサーベイおよび社内ハラスメント相談窓口新設
 - 福利厚生プログラム「J-Care」の体系化と、画期的な社員旅行制度の新設
 - 女性管理職向けタウンホールなど女性活躍推進をはじめとしたD&I施策の展開
→ 女性管理職比率13.4% (対前期比0.9pts向上)
 - 評価制度の見直し(JBCCバリューの評価項目採用による人的評価基準の設定)

● JBCCグループの更なる企業価値向上に向けたガバナンスの強化と、機動的な株主資本政策の推進

柔軟で強固な経営基盤の構築と、経営品質の向上推進

取締役会の取り組み

- 監督と執行の分離によるガバナンスの健全性と経営の透明性の向上
→ 独立社外取締役3人(女性取締役1人)、社内取締役3人体制へ
- 取締役会スキルマトリックスの見直し

グループガバナンスの強化

- グループ内組織改編:JBCCによるJBATの吸収合併(2025年4月1日)
→ 経営資源の集中による顧客価値の向上とグループ全体の事業成長
- CxOマネジメントシステムの立ち上げ

戦略を実行するための組織改革

- 顧客セグメントによる新たなカバレッジモデル
→ 注力領域でより強みを発揮し更なる成長をするための体制の強化
- AIを含む注力事業領域に高度技術専門職15名を任命(4月末日現在)

資産効率の向上と、健全で強固な財務基盤の維持

株主資本政策

- 株式分割による流動性の向上及び最低投資額の引き下げ
→ 2025年4月1日付で4分割、4月1日終値ベースの最低投資額109,600円
- 政策保有株式の低減
→ 持ち合い比率:10.9%→8.0%、継続的に削減の方針
- E-Ship(信託型従業員持株インセンティブ・プラン)の導入
→ 2025年3月、自己株式605,300株(分割前)を信託
- 人材投資促進税制の活用
→ 当期196百万円を節税(対前期81百万円の削節税額増)

利益率の向上および資産効率を高めることにより、健全な財務基盤を維持し、長期的な株主還元を実現します。

持続的な企業価値向上

売上高
745億円以上

営業利益率
11%以上

ROE
20%以上

株主還元の拡充

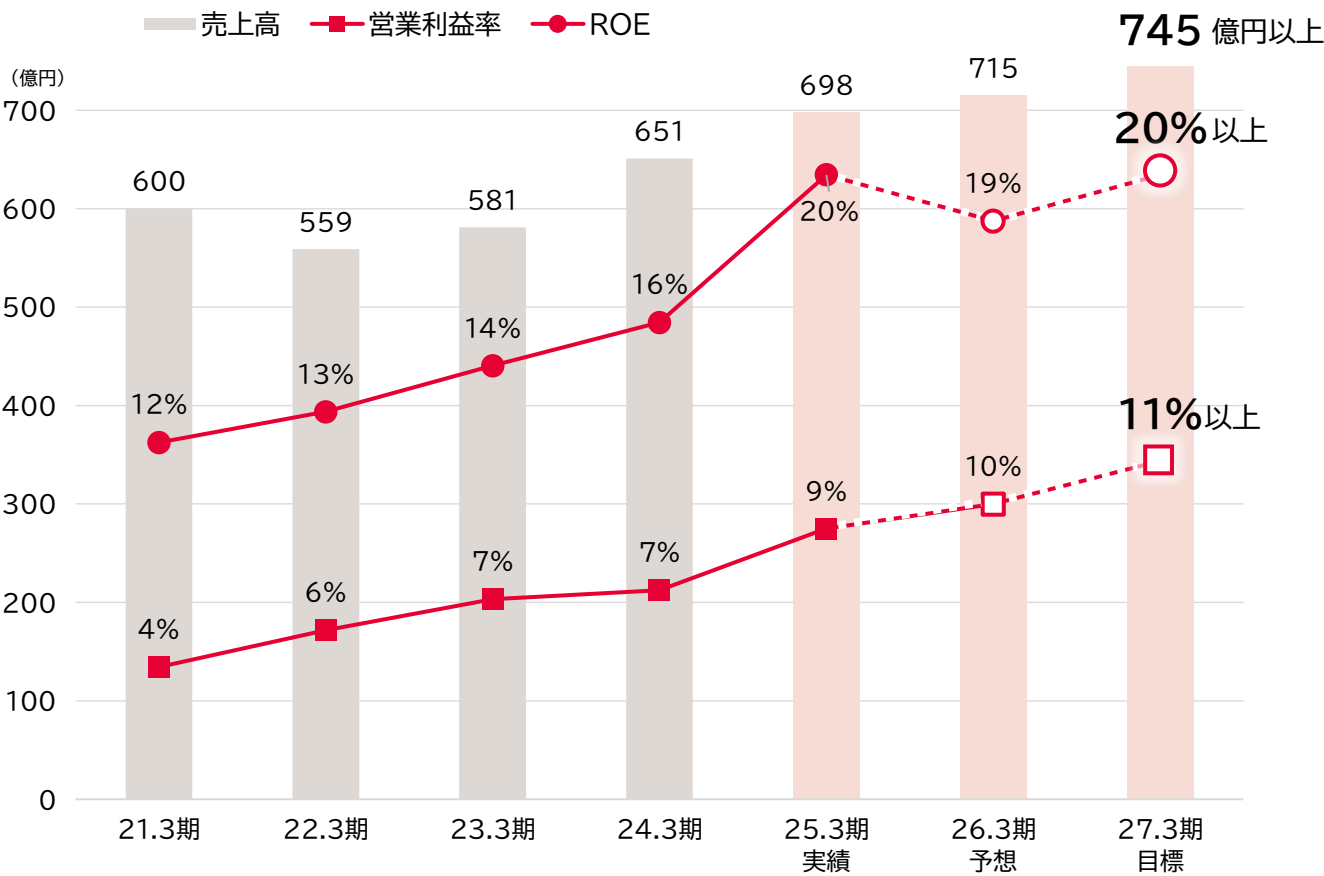
配当性向
45%以上

機動的な
自己株式取得

重点投資領域

- 人材戦略の推進
- 新たなビジネス領域
- 経営基盤の強化・高度化

CHALLENGE 2026



継続的な成長

- スtockビジネス比率 **60%**
 - ・クラウド 売上高CAGR 36%
 - ・セキュリティ 売上高CAGR 30%

収益性の向上

- 売上総利益率 **+3pts**
 - ・超高速開発 +10pts
 - ・クラウド、セキュリティ +3pts

CHALLENGE
2026

キャッシュフロー

- 人材への投資
- 新たなビジネス領域への投資
- 配当性向 **45%以上**

質 疑 応 答

JBCCホールディングス株式会社
経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。